

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

| | |
|--|---|
| <p>成型機 300kg/h 以上</p> <p>既存木材乾燥機 1号 既存木材乾燥機 2号 既存木材乾燥機 3号 既存木材乾燥機 4号 既存集成型加工機 木材乾燥機 5号 運送機等</p> <p>燃料サービサイロ</p> <p>蒸気ボイラー</p> <p>貫流蒸気ボイラー</p> <p>最高蒸気圧 0.98MPa 以下 最大蒸気量 350kg/h 定格燃焼量 67kg/h</p> <p>ガンタイプペレットバーナー</p> <p>貫流蒸気ボイラー</p> <p>ガンタイプペレットバーナー</p> <p>既存蒸気ボイラー (バックアップ用)</p> <p>点検計画</p> | <p>【施設名称】 木質ペレット製造併設蒸気ボイラープラント</p> <p>【事業主体】 中西製材株式会社</p> <p>【所在地】 福井県越前市</p> <p>【運転開始年】 平成 16 年 (2004 年)</p> |
| <p>原材料および利用量</p> | <p>木屑 (350t / 年)</p> |
| <p>生産物 (種類)</p> | <p>熱利用</p> |
| <p>利用方法</p> | <p>木材乾燥機等の工場内プロセス熱需要に利用するシステムの実証</p> |
| <p>導入目的・経緯</p> | <p>温室効果ガス排出削減に寄与するとともに、木屑処理費用の軽減、燃料費用の削減による経済的メリットを享受できるシステムの導入を目的とした</p> |
| <p>設備仕様</p> | <p>成型機：300kg / h 以上 貫流蒸気ボイラー：ガンタイプペレットバーナー 最高蒸気圧 0.98MPa 以下 最大蒸気量 350kg / h 定格燃焼量 67kg / h</p> |
| <p>稼働状況</p> | <p>木屑処理量 350t / 年 熱利用 (利活用可能量) 350t / 年</p> |
| <p>経済性関連データ</p> | <p>平成 16 年度 バイオマス等未活用エネルギー実証試験事業 (独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)) 総事業費 60,000 千円 補助 30,000 千円</p> |
| <p>導入効果</p> | <p>木屑処理問題が解消されるとともに、従来木材乾燥用に使用していた灯油の量を半分近くまで減少できた</p> |
| <p>運営上の課題</p> | <p>発生する木屑の性状によりペレット成型率が変化し、安定した製造が難しい。現在、安定製造のための設備の改善を行い、その実証を行っている</p> |
| <p>備考・参考資料</p> | <p>・北陸農政局 HP (H18 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例)</p> |